渡 辺 歯 科 医 院 通 信 201

サクラサク、お花見の季節になりました。

まだまだ朝は冷えますが、お昼の暖かさで春が感じられるようになりましたね。毎日日本のニュースには心が痛みますが、九州から元気を送れるよう、毎日頑張っていきた

差し歯についてのお話

虫歯が大きく、部分的な詰め物では修復が不可能な場合の治療が「差し歯」です。すっぽりかぶせるので「クラウン（冠）」とも言います。すべて金属のものと一部白いりますが、保険で白いものが適用されるのは上下とも犬歯（糸切歯、真ん中から数えて歯）までと決まっています。しかし、「にっこり」笑顔になれば４，５番目（小臼歯）くはどうしても見えてしまうものです。口元でお顔の印象も変わりますので、見える範囲がお勧めです。

それぞれの特徴

一口に「白い差し歯」といっても、様々な材料があり、それぞれに特徴があります。

【ジルコニアセラミック】

金属を使わないためアレルギーの心配がなく、最も自分の歯に近い色合いで変色しないが、費用がかかる。

【オールセラミック】

金属を使わず自分の歯に近い色合いで変色しないが、歯を削る量が多くなる。

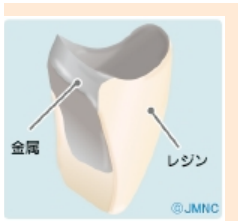
【メタルボンドセラミック】

セラミックなので変色がなく、また金属の裏打ちがあるため奥歯の噛み合わせにも耐えるが、歯茎との境目がやや黒くなることがある。

メタルボ
ハイブリ

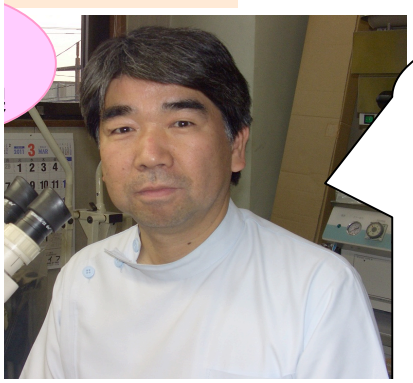
【ハイブリッドセラミック】

保険の硬質レジンよりも透明感があり変色はしにくいがセラミックには劣る。金属の裏打ちがあるため歯茎との境目がやや黒くなることがある。



【硬質レジン前装冠】 ※保険適応

外側（頬側）のみ白く大半が金属で、黄ばんだり傷ついたりしやすい。前歯は保険適応



院内技工室ですので 患者様、歯科医師、スタッフと密接なコミニケーションを図りながら仕事ができます。これは技工士としすごくありがたい事です。技工作業は手先だけの仕事と思われちですが、実は心で作るものだと、この院内で学びました。こも日々コミュニケーションを図りながらの仕事ができた結果

Web ｱﾄﾞﾚｽ　http://www.watanabe-kai.com/　email ｱﾄﾞﾚｽ　info@watanabekai.com